

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレシス本厚木VII 新築工事	階数	地上13F
建設地	厚木市厚木町2587-2他2筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	264 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2025/10.22
敷地面積	1,119 m ²	作成者	株式会社プラスデコ
建築面積	531 m ²	確認日	
延床面積	5,697 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 74%

③上記+②以外のオンサイト手法 74%

④上記+オフサイト手法 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
ZEH-M Orientedを満足する省エネ性能を有する。 有害物質の含有が少ない建材の使用、耐用年数の長い躯体材料等の使用により、居住者ならびに環境への負担へ配慮。	特になし
Q1 室内環境 住戸開口部の遮音性能T-2以上 カーテンと庇により適度に日光を制御 ほぼすべての建材にF☆☆☆☆を使用	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 一次エネルギー削減率(再エネなし) = 23%	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率 = 74%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される